

もの言う牧師のエッセー 第218話 「米国人自治会長、スマイルで街づくり」

「サムさん」の愛称で親しまれる米イリノイ州生まれのサミュエル・エドワード・テケンブロックさんは、日本語を学ぶため昭和61年に28歳で来日した後、関西外国語大の英語講師などを経て、現在は建築コンサルタント。日本人女性と結婚し、平成18年から大阪府枚方市香陽台に住んでいる。21年2月、次年度の自治会役員をくじで決める会合で「会長」を当てた。「外国人の自分で良いのか」と初めは不安だったが、住民たちが協力を約束。「地域への貢献は住民の責任の一つだ」と思い直し、引き受けたという。

当時あまり活動していなかった自治会を、地域の触れ合いの場にしようと奮闘。雑草が伸び放題の公園に、みんなで花壇やベンチを設置。年に1度は水族館などへのバス旅行を企画。イベントでは手作りクッキーを振る舞うこともあり、敬老の日には遠出が難しいお年寄りのためにプロの落語家を呼んで落語会も開く。「明るく笑顔たっぷりの地域にしたい」と理想を掲げ自治会長に就いて7年近く。今では自身が提唱した合言葉「スマイル」が地域に浸透し、道で出会うと住民同士が笑顔であいさつするのが習慣になった。花壇作りなど自治会の行事も多くの方が積極的に参加する。「ハッピーだから笑うんじゃない。笑うからハッピーになるんだよ」と言い切るサムさん。 聖書は言う。

「いつも主にあって喜びなさい。もう一度言います。喜びなさい。あなたがたの寛容な心を、全ての人に知らせなさい。主は近いのです。」ピリピ人への手紙4章4-5節、

実は神を信じる者にはある決定的な強さがある。それは、神に愛されているという確信から来る祝福と喜びだ。だから辛い時も感謝を忘れず、笑顔で歩む。また、そうすることを人に勧めることをいとわない。それが、イエスが自治会長している人生でありコミュニティなのだ。

